

脳神経医学セミナー

(来聴歓迎・事前登録不要)

脳の形成と機能に必須なリーリンの機能解明と
その疾患治療への応用

名古屋市立大学大学院薬学研究科
病態生化学分野

服部 光治 先生

日時 2018年3月27日火曜日 午後5時～6時
場所 金沢大学宝町キャンパス F棟 1階修士セミナー室
<http://square.umin.ac.jp/top/map/master.pdf>
後援 金沢大学十全医学会

哺乳動物の脳は層構造を形成しており、正常機能に必要である。層構造が異常な突然変異マウス「reeler」についての研究は60年以上の歴史があるが、原因遺伝子「リーリン」の機能は未だ不明な点が多い。また近年、リーリンの「機能低下」が精神神経疾患の発症や増悪化に寄与することが報告されており、リーリンの機能低下を防ぐ方策も大きな課題となっている。我々は最近、リーリンの新規受容体の候補を同定し、層構造形成の最終段階を制御していることを見いだした。また、リーリンを不活化するプロテアーゼの同定に成功した。我々の最近の知見を紹介し、残された問題を解決するには何が必要なのかを議論したい。

問合せ 金沢大学医学系 脳神経医学分野 河崎 洋志
076-265-2365, kawasaki-labo@umin.ac.jp